

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.269 令和6年8月23日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和6年第1回臨時会

- 臨時会の概要 1面
- 議案の審議結果等 12面

令和6年第2回定例会

- 定例会の概要 1面
- 代表質問 2~3面
- 一般質問 4~6面
- 定例会活動報告等 7~9面
- 令和6年第2回定例会 会期日程、委員会で取り扱った請願・陳情等 10~11面
- 議案の審議結果等 12面

元千代田区議会議員の有罪判決について

千代田区議会議長 秋谷こうき

7月16日、元区議会議員の嶋崎秀彦氏が、東京地方裁判所において官製談合防止法違反及びあっせん収賄の罪により懲役2年6か月、執行猶予4年の有罪判決を言い渡されました。

1月24日の逮捕からこの度の有罪判決まで、区民の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけし、改めて心より深くお詫びを申し上げます。

千代田区議会では、この判決を真摯に受け止め、2月14日に全会一致で議決した「千代田区議会の信頼回復に努めることを誓う決議」の下、同日議決、設置した「契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会」を中心に、全議員が区民の皆様からの信頼を回復するため、より一層努力してまいります。

トップニュース

TOP NEWS

令和6年第1回 臨時会

令和6年第1回臨時会を、4月25日に開催しました。

- 千代田区特別区税条例の一部を改正する条例を可決
- アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の賦課徴収の特例に関する条例の一部を改正する条例を可決

令和6年第2回 定例会

令和6年第2回定例会を、6月19日から7月10日まで、22日間の会期で開催しました。

- 議員提出議案「選挙活動の健全性を確保するために政府の速やかな対応を求める意見書」を可決
(詳細は9ページをご覧ください。)
- 令和6年度一般会計補正予算第1号を可決
補正前の額、「695億7,561万6千円」に、「3億4,101万8千円」の予算額を追加するものです。内容は、「低所得世帯に対する価格高騰特別支援給付金」、「定額減税補足給付金」及び「千代田区議会議員補欠選挙」の各事業に要する経費の追加です。(審査経過は8ページをご覧ください。)
- 千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例を可決
東京都市計画地区計画二番町地区地区計画の変更に伴い、この条例に定める同地区地区整備計画における計画地区の区分を追加し、建築物の用途制限、容積率の最高限度、敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限、高さの最高限度、及び緑化率の最低限度について定めるものです。(審査経過は7ページをご覧ください。)
- 千代田区長及び副区長の給与の特例に関する条例を可決
区長の給料の額を2割、第1順位の副区長の給料の額を1割、それぞれ1か月の間減額するため、条例を制定するものです。



委員会 インターネット中継の 試行を実施

令和6年第2回定例会から、委員会の様子をリアルタイムでお届けするインターネット中継の試行を実施しました。
今回は、「デジタル・トランスフォーメーション特別委員会」のみ実施しましたが、試行の結果を踏まえて、第3回定例会からは中継対象を全委員会へ拡大していくことを検討しています。



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

#次世代・都民ファースト・立憲の会 岩佐 りょう子



地域コミュニティの支援について

問 町会活動参加者の減少が顕著。人的・業務的支援に加え民間も含めた他団体との交流促進による協働の仕組みづくりを提案する。

答 青年部等町会活性化の担い手の声も聴き支援のあり方を検討していく。また多様な地域コミュニティ団体と町会との連携を推進し、庁内の様々なコーディネート機能の連携も調整を図っていく。

庁内の組織活性化について

問 ①課題の可視化等、効果的な人材マネジメントを推進しては②組織力向上にはビジョンの共有が必要。人材育成の場での確認を。

答 ①目標管理型の人事評価や庁内公募等を実施。他自治体も参考に推進②アンケート調査やワークショップ開催を重ねて区のビジョンや存在意義を策定し、全職員への定着・浸透を図っていく。

文化芸術活動の場の整備について

問 文化芸術に触れる機会の確保に重点が置かれ、自主的活動への支援が少ない。区内ホールの区民利用もほとんどできない状況の中、活動できる場や拠点の整備が必要と考えるが、区の見解は。

答 質・量ともに活動の場が充実するよう民間・大学等との連携も含め支援に努める。また多様な利用者へ聴取りを行い、誰もが文化芸術に親しめる活動拠点を目指してアーツスクエアの改修を進める。



千代田区議会 自由民主党 林 則行



官製談合とあっせん収賄事件の区政への影響

問 公判で検察が「官製談合は受注調整という形で行われており、関与していた区議会議員も10年ほど前から談合が行われていた」と論告・求刑で証言①11月からの内部調査の進捗は②職員への内部調査をいつ始め、また、年度人事異動と処分手続きの関連性は。

答 ①調査はほぼ終了し、違反行為のあった職員を懲戒処分した。今後再発防止の報告書等で適宜示していく②4月から服務監察の調査を開始。人事異動と処分手続きは関係がない。

町会の定義▷役割▷支援体制のエリマネとの関係

問 ①町会の定義と位置付け②基本構想内の「豊かな地域社会」へのエリアマネジメントの関与③町会とエリマネの関係と支援策は。

答 ①住民の地縁に基づく団体で地域コミュニティの中心・基軸②地域コミュニティの担い手としての貢献に期待③多様な団体と町会の連携を図る観点等から支援施策のあり方を検討していく。

東京都の基本計画「未来の東京」戦略と区政運営

問 ①「未来の東京」戦略 version up 2024を受け第4次基本構想を見直すのか②「将来像に向けた方向性と取組み」に数値目標が必要。

答 ①「将来像に向けた方向性と取組み」を軸に柔軟な行政運営を進めており更新の予定はない②掲載に向け庁内調整を行っている。



出所：東京都政策企画局

千代田区議会自由民主党議員団 永田 壮一



地方自治法改正と緊急事態対応について

問 地方自治法が改正され、緊急事態に国が自治体に対して必要な指示を出すことが可能になった。このことによって国や都、近隣区との情報共有や連携体制、区の事務処理はどう変化するのか。

答 地方公共団体間の情報共有や応援体制等がより一層進むと考えられる。今後の国からの通知に基づき、適正な対応を進めていく。

環境対策について

問 ①地球温暖化対策第5次実行計画に掲げる「令和12年度までに区有施設のCO₂排出量ゼロ」は実現可能か②国が期間限定で復活

させる光熱費の負担軽減策に次いで、区にもできることはないか。

答 ①令和4年度の排出量は9,252トンで、基準年度の平成25年度比で37.7%削減。目標達成に向け取組みを加速させる②国の政策や物価動向、経済情勢等を鑑み総合的な検討が重要と認識している。



カスタマーハラスメントについて

問 ①国や都がカスハラ対策の法改正や条例化を進める中、区への対応は②職員側の意識向上も今以上に求められる。区の見解を問う。

答 ①区でも類する行為が目立ち始め、全庁的な議論が必要と認識。区民と職員が共に尊重される環境づくりを目指す②カスハラの実態や対応方針を明確化し、研修等で職員の意識啓発を図っていく。

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団

米田 かずや



区の再発防止対策委員会有識者会議の進捗状況は

問 ①これまでの検討状況は②職員の懲戒処分への考え方と手続きは③区長は行政の最高責任者としてどのように対応していくのか。

答 ①現状等を分析し再発防止に向けた報告書を作成中②法令等を基準に個別事情をしん酌、審査委員会の答申も受け判断③制度を総点検し第三者機関の意見も踏まえ再発防止の取組みを進める。

高齢者施策フレイル対策、介護支援専門員について

問 ①フレイル対策事業の成果と課題は。今後ヒアリングフレイル予防も取り入れては②更新研修受講料を全額助成にしてはどうか。

答 ①予防講座等で一定程度の効果、多くの方に参加いただける内容拡充を検討する。高齢者難聴対策に関する講演会等で普及啓発、フレイル測定会のメニューへの追加も検討を進める②各介護事業者の状況を精査した上で、現行の補助事業の見直しに着手する。

DX戦略のこれまでの成果と課題、今後の展開

問 ①DX戦略の成果と課題、今後の方向性は②ガバメントクラウド移行の進捗は。自治体負担となる費用をどう見込んでいるのか。

答 ①デジタルデバイド対策や人材確保を実施。継続的なデジタル活用に課題があり、今後は地域のスマート化の視点も含め推進②早期移行団体検証事業へ参加、検証を通じ負担額抑制を検討する。



出所：千代田区ホームページ

ちよだの声

はまもり かおり



ウォーカブルなまちづくりの実現に向けて

問 ①バルセロナでは、まち全体を2km²でユニットをつくり、徒歩10分圏内に生活に必要な場所、公共施設をプロットしているが、千代田区は②効果検証として、大気汚染、事故数、騒音レベル、健康や社会的交流の促進等の指標を考えているか。

答 ①多様な地域特性等を踏まえ、地域によって定め



出所：Jaume Barnada氏資料

ていく②道路に関わるデータの収集、分析を行い、生活道路整備と活用のあり方を検討する。

DX促進について

問 ①契約情報など加工可能な形式でのデータ公開が必要では②区に必要なDX人材を具体的に定義した上での研修を。

答 ①一部検索可能な形で公開しており、その他契約情報の公開も検討する②各職場での需要を明確化し戦略的に人材を育成する。

子どもの意見表明権について

問 ①子どもの権利についてのリーフレットの活用は②子どもたちの意見を受け止め、反映させる仕組みが必要。具体的な検討を。

答 ①児童・生徒全員に配付、公民分野で副読本的な役割としても活用②現在も子どもや保護者と意思疎通、意見交換を実施している。意見を教育行政に生かす方法等を検討、さらに推進する。

日本維新の会千代田議員団

春山 あすか



防災・減災に対応した持続可能なまちづくり

問 ①まちの魅力やブランド力を高める「都市デザイン」への取組みが必要②気候変動への適応や脱炭素化、生物多様性の向上に、既成市街地でも地区や街区単位でのレジリエントな都市づくりを。

答 ①まちづくり構想等の策定状況は地域によって異なる。地域の発意や機運等も考慮しつつ、策定に向けて区も積極的に関与していく②気候変動や環境問題には広域的な対応で一層の効果が図れると考えており、対象範囲における調査手法等を研究していく。

生態系・環境保全に資する緑化と区道の見直し

問 車の排除による緑化に積極的に取り組み、人々の幸せにつながる道路としての区道のあり方を検討する時期に来ているのでは。

答 区道利用の実態把握調査やデータ可視化等を検討するほか、レインガーデン設置補助を進め、都の先行事例も調査検証していく。



出所：国土交通省 国土技術総合研究所ホームページ

地域情報発信と非常時の情報提供をするラジオ

問 平時には地域・コミュニティ活性につながる地域情報、非常時には地域の安心・安全に寄与する情報を発信するコミュニティFMの検討を。区の情報に遠かった人への新たなアプローチにもなる。

答 既存施策の発展や地域情報の浸透に寄与する一方、地域の機運や運営体制等の課題も多く、先行事例の成果を参考に研究する。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小林 たかや (自民党)



地域コミュニティ活性化の取組み

問 住民同士のつながりの希薄化が見られる。先進自治体の取組みを参考に課題を体系的に整理すべき①地域コミュニティのあり方をどう考えるか②町会等への現在の対策は③条例が必要、区の見解は。

答 ①住民自治の中心である町会だけでなく様々な主体の連携・協力が求められている②町会参加のきっかけづくり、町会とその他団体の交流を促す取組み等を実施③現行支援の見直しを優先としながら課題を体系化し戦略的に取り組んでいく。

不登校対策としてのSSR※とは

問 ①SSR設置のニーズ把握、当事者や全生徒・保護者への周知広報は②SSRモデル校を設置しては。

答 ①学校関係者の理解の下でニーズ把握、リーフレット配布や保護者会で周知②モデル校となる学校を特定し充実に努める。

※SSR:スペシャルサポートルーム(クラスに入りづらい児童生徒が自分のペースで学習・生活できる校内設置の居場所)

田中 えりか (国民)



ヤングケアラー支援と孤立対策

問 お手伝いの範囲を超え、学校生活や交友関係への支障が出るほどの負担は孤立を深める原因となる。また、自分のことを後回しにする環境では知らないうちに自己肯定感が低くなる傾向もある。本人の無自覚や家庭の問題を公にしたくないという感情の克服、社会的認知度の向上が求められている。現在の本区における取組み状況、今後の支援体制の強化や拡充、周知啓発について区の見解を問う。

答 教育機関を通じて情報を把握し、ケアラーが担うケアを外部サービスで代替できるよう関係部署と連携を図っている。関係機関等との意見交換を行うほか、普及啓発のため幅広い情報発信を検討する。



出所:こども家庭庁ホームページ

えごし 雄一 (公明)



高齢者への居住支援について

問 ①単身高齢者からの住替えに関する相談内容や対応状況②居住支援協力店が少ない理由と拡充に向けた区の考えを問う。

答 ①「公営住宅に当選しない」「家賃が高い」等の相談がある。希望に応じ公営住宅等の案内や居住支援協力店の紹介を実施②希望家賃帯の物件が少なく丁寧な聴取りに時間を要するため。協力店の増加や関係継続の仕組みづくりを検討する。

食品ロス削減と相談支援

問 コンビニ等の身近な場所でフードドライブを行えば、意識が向上して区民の利用が増え地域社会で食品ロス削減を推進できる。現在の実施状況と拡充の考えは。

答 現在区内の12か所に設置し、食品ロスやCO₂削減で一定の成果がある。更なる周知と拡充に向けて、利用者のニーズや動向等を踏まえつつ、コンビニ等の民間事業者への協力呼掛け等を検討していく。

白川 司 (自民)



体育の男女共習の問題点

問 体育授業の男女別実施を求める区民からの訴えがある。子どもの健全な成長のためにも最大限の配慮が必要①義務教育での共習の方針は②場合によってあえて共習を避ける等の配慮を行っているか。

答 ①学習指導要領で原則男女共習が求められているため、区立学校では共習で授業を実施②水泳授業での男女別コース設置等、できる限りの配慮に努めている。

包括的性教育の危険性 ほか

問 包括的性教育には人権イデオロギー実現の目標があると感じられる。性教育等子どもの精神的成長に関わることは慎重に進めるべきだが、区で導入の動きはあるか。またそのリスクへの認識はあるか。

答 包括的性教育の考え方は学習指導要領にも重なる一方、児童生徒の発達段階に即した指導が大変重要と認識しており、教育の中立性を保ちつつ慎重に対応する。

大坂 隆洋 (自民党)



地域経済活性化支援

問 ①産業振興施策の基本姿勢と更なる充実・拡充は②商店街の課題と支援策は③街路灯の広告フラッグ活用は。

答 ①各地域の多彩な魅力や新しい活力を生かすことが肝要。全体の底上げや地域の個性を生かす取組みを推進②各商店街で課題は異なるため、個別相談で意見交換を実施③実施の可能性を研究する。

部活動の推進

問 ①部活動指導外部委託の課題と改善策は②麹町中ダンス部の新聞報道は一部事実と異なるとのことだが、経緯・経過は。

答 ①働き方改革の推進と専門的指導の機会につながる一方、周知不足や生徒の期待と指導のギャップもあり、改善のため委託先と連携を深める②少人数から部員全員で一つの目標に向けた活動を提案したが、生徒の多様な意向を確認し、練習を見直すとともに校内発表会も実施した。

小枝 すみ子 (声)



高齢者住宅

問 第3次住宅基本計画の最終年にあたり①人口増の代わりに定住化は後退した。区の評価は②新計画における高齢者住宅のあり方としての重点と目標の考え方は。

答 ①定住化施策を実施してきたが、転出意向を持つ区民世論もある②計画改定検討会議の議論を通じて検討を進めていく。

リファイニング誘導

問 まちの文化的・歴史的な文脈を残しながら建物の強靱化・長寿命化を低価格で可能にする再生施策の推進等、住宅基本計画改定検討会議の議論に多様な選択肢を。

答 現実的な課題を踏まえ、学識経験者や専門家等の議論を通じて検討していく。

リファイニング建築を軸にした区のリノベーション支援・誘導例



出所:議員本人作成

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

富山 あゆみ (次世代)



ちよだ地域通貨を導入しよう!

問 地域経済の循環・活性化を図るべく、利用ツールを統一した上で区独自のデジタル地域通貨の導入と活用を検討しては。

答 地域のスマート化への取組みの一つとして、活用の可能性を多角的に検討する。



千代田区のDX推進キャラクター chiyodx(ちよだっくす)
出所:千代田区ホームページ

教育環境&子育て支援について

問 ①適切な教育環境を迅速に提供するため、各児童や家庭の希望を関係者が連携把握しては②発達障害や不登校のペアレントトレーニングの更なる普及啓発に向け、オンライン化等の工夫を検討しては。

答 ①引き続き連携を確実にし、通級相談の手順を全教員が理解できるよう努力②より参加しやすい方法等を検討していく。

西岡 めぐみ (自民党)



英語・国際教育を推進し、区立英語重点校でグローバル育成を

問 区立英語重点校や区立国際教育推進校を設置し、ニーズの高い外国人ALTの派遣を。既存の区立幼・保・小・中学校等へ時間枠増加により、一斉授業から主体性と共生への国際理解力の芽生えを支援し、子どもたちへ選択肢を拡充。さらに語学教育に特化した複合型学童保育の誘致も。併せて母国の伝統文化や歴史理解も重んじる学習環境を。他方、増加する外国人児童生徒等への対応とインターナショナルスクールへ通学する家庭の対応は。

答 区立の英語活用の時間枠増を検討する。様々な状況下の児童生徒等が安心できる学習環境整備を教育委員会として検討。



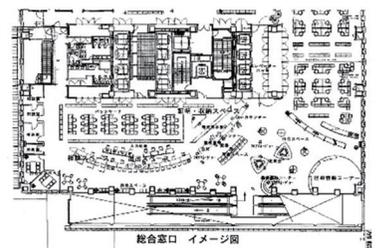
桜井 ただし (自民)



区役所総合窓口の機能について

問 ①総合窓口設置当初の基本的な考え方は今も共有されているか②DX活用のサービスが広がる中、今後の窓口での活用は。

答 ①設置以来3S(スピード・スマイル・信頼)を基本にサービス向上を図っている②現時点で区ポータルサイトにて子育て関係手続き等が可能。出生届等、オンラインでの手続きが今後も増加していく。



出所:新庁舎特別委員会資料

不登校対策について

問 ①区の現状認識と対策は②全校に設置したスペシャルサポートルームの成果は。

答 ①減少傾向にあるが引き続き重要な課題と認識し、多様な学びの場を確保②校内での居場所としての役割を果たしている。

おの でら 亮 (次世代)



ふるさと納税受入開始と課題

問 返礼品を伴う寄附金の受付が10月に開始。後発の本区への取組みを問う①受入れ開始に向けた現状と課題②寄附額の目標や経済効果③返礼品募集の周知状況は。

答 ①返礼品募集や実施申請を進めている。地域資源は基準に合致しづらく体験型も企画②制度の理念を鑑みあえて想定せず③案内が行き届いていないという意見も届いており、周知方法を改めて検討する。

> 千代田区でも地域特性を踏まえた使い道の設定を。
例・他地域より高い住居費や物価への対策
・子育て世帯・高齢者世帯の経済的負担の軽減
・私立や国立の学生に対する給食費相当額の支給

< 他自治体のふるさと納税活用事例 >

団体	事例	分野
岡山県和気町	公営塾の開設	教育・子育て
静岡県	子どもの居場所づくり	教育・子育て
群馬県高崎市	文化・スポーツ団体の支援	まちづくり・スポーツ
鳥取県琴浦町	桜の植樹、管理費用	まちづくり・スポーツ
長野県長野市	城の復元、町並み景観の維持	文化・歴史
福島県昭和村	廃校舎を人が集う拠点へ	観光・交流

出所:議員本人作成

寄附金の使途設定について

問 寄附金の使途、対象分野等の設定は。

答 開始時点では「区政全般」のみ。体系的な整理の上で、来年4月から受け付ける寄附に適用できるよう検討を進める。

牛尾 こうじろう (共産党)



区独自の給付制奨学金の創設を

問 実質賃金が下がり続ける中、学費軽減を求める声が親だけでなく子どもたちにも広がっている。教育の保障は政治の大きな役割であり、自治体としても支援の強化が求められる。子どもたちの学びを保障するため、他区でも実施例が見られる独自の給付制奨学金創設を検討すべき。

答 国や他区への取組み等は認識しており、今後も国や他自治体の動向等を注視していく。また令和6年度の新規事業として、子どもの学びの機会を保障することを目的とした教育ローン利子補給金制度の構築・実施に向けて取組みを進めている。

学歴詐称問題への区長の関与は?

問 都知事の学歴詐称工作に区長が関与したという月刊誌掲載の告発記事は事実か。

答 大学が卒業を正式に認め、その声明文も大学当局の意思に基づいて公表されたと都議会で答弁されている。



Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

のざわ 哲夫 (維新)



区独自エレベータ設置助成事業

問 令和5年12月8日企画総務委員会での地域防災計画修正資料では、首都直下地震でのエレベータ閉込め台数は754台を想定。0台を目指すべく、区独自事業として全建物を助成対象に拡大しては。最大助成率を全経費の12分の11に、最大助成額上限なし、3年間時限措置とすれば、速やかな工事実施が期待できると考える。

答 各種安全装置は建物個々で事情が異なるが防災上の課題と認識。国や他自治体の状況も考慮し区の対応を検討していく。

大阪関西万博の広報への協力等

問 社会的出来事として公共施設へのポスター等掲示や在勤者に向けて事業者への周知協力等、区が大々的な宣伝をしては。また、図書館に関連図書の特集コーナーを。

答 区立施設にポップ等を展示済みだが、今後も適宜対応。また、これまでも国民的事業は図書館の判断でコーナーを設置。

入山 たけひこ (次世代)



公園通学路への防犯カメラ設置

問 都の制度を活用し公園や通学路に防犯カメラを設置しては。またカメラの映像から利用時間等を把握し、時間設定等による有効利用につなげられないか。

答 都の制度では関係協議体の設置が求められ、多角的な検討が必要になる。映像利用にはプライバシーへの配慮等課題も多いため、十分に議論を積み重ねていく。

九段中等教育学校国際理解教育

問 都立校を対象とした都の国際プログラムでは、九段中等は区立校のため対象外になっている。都立校と区の支援格差に対し区はどのような支援を考えているか。

答 九段中等での海外研修旅行や海外大学派遣研修といった取組みは都内公立校の中でもとりわけ充実している。今後は都の海外派遣にも参加できるように都に働きかけるとともに、当校の実施内容が更に充実したものになるよう研究していく。

はやお 恭一 (自民党)



年度当初の唐突な組織提案

問 ゼロカーボン推進技監新設について①年度途中での組織改編になった理由②スタッフ業務であるのに名称を技監とした理由③職員定数条例の改正を踏まえた任用計画、生え抜き職員の重点施策分野への活用に関する考えは。

答 ①環境省に主任級区職員を派遣中だが、推進体制強化のため同階層の人事交流を国に打診し、昨年度末、今夏に可能と回答を得た②国の要望に基づく③予算編成時に複数年の需要数を調査。人事異動は区長専管事項のため答弁を控える。

区民への実効性高い中期計画を

問 第4次基本構想下の基本計画がなく、複数年度の視点に基づく中期的ロードマップが見えない。施設整備の具体の計画、財政運営の見通し等、行政の説明責務は。

答 公共施設等総合管理方針の改定を踏まえた「財政見通し」を本年中に策定予定。

岩田 かずひと (次世代)



区長の都知事学歴詐称関与疑惑

問 都知事が学歴を詐称し、さらに区長がその隠蔽工作を幫助したとの疑惑が雑誌記事になった。区長自身の言葉による関わっていないことへの説明を求める。

答 大学が卒業を正式に認め、その声明文も大学当局の意思に基づいて公表されたと都議会で答弁されている。

日本テレビ跡地再開発について

問 再開発による地域貢献を強調するばかりで、地域住民が受けるデメリットや被害の綿密な試算が地元住民に説明されていないのではないか。就業者や来訪者の増加による周辺道路や駅への影響等、人口の増加に際して引き起こされるであろう様々な現象について試算すべき。

答 二番町地区地区計画の変更は3月の都市計画審議会で可決された。審議会で附帯決議された内容を踏まえ、事業者と共に対応し整理されていくと認識している。

小野 なりこ (次世代)



子どもたちの安全安心について

問 家庭判断でのGPS所持等、時代で変化する地域事情や家族の多様さも踏まえ、子どもを取り巻く安全安心をどう考えるか。

答 安全安心の確保は最優先とすべき。今年度から区内大学や警察との連携を開始、GPS導入も各学校と検討を深めている。

子どもの学びに必要な環境調整

問 ①就学前健診等で相談窓口の周知や啓もうを②入学前の文房具類の準備では実際に試せる機会が有効。支援の検討状況は。

答 ①健診等で資料配布や相談先周知等を実施②文房具類紹介のチラシを今後作成し保護者会等で配付する。実物を試せる機会も引き続き検討する。



出所：議員本人提供



定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案12件のうち10件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」は、建築基準法の一部改正に伴い、建築物の省エネ改修を伴う大規模修繕等を行う場合の、現行基準による制限の緩和に係る認定申請について手数料を新たに設定するものです。あわせて、宅地造成及び特定盛土等規制法の施行に伴い、宅地造成の工事許可申請等に関する手数料を新たに設定し、開発行為の許可申請等に関する手数料の額を改めるほか、規定を整備するものです。



〈審査経過〉

盛土規制法の関係では、区内の一部地域で高低差があるため、開発の際に手数料の発生が想定されるが、その際は、申請の内容が正しいか検査を通して適正に確認していく考えであること等が明らかになりました。

「防災行政無線操作卓等の購入について」は、防災行政無線システムで使用する操作卓等の機器を購入するものです。

〈審査経過〉

結果的に1者入札であったが、防災行政無線は他の自治体でも行っており、全ての防災行政無線を今回の落札業者が請け負っているわけではなく、必ずしも当該業者でないとできない理由には該当しないと考えており、入札に付したこと等が明らかになりました。

その他、「千代田区『財政事情』の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例」等5件を審査しました。

文教福祉委員会

議案2件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例及び千代田区地域包括支援センターにおける職員等の基準に関する条例の一部を改正する条例」は、地域包括支援センターの職員配置について、実情に応じた柔軟な対応を可能とするものです。

〈審査経過〉

区にある2つの地域包括支援センターは、いずれも改正前の基準以上の職員数を配置していること。他自治体のセンターで人員が不足した場合でも区のセンターからの職員の異動は想定されていないこと。現在、人材確保の面で配置が難しいという相談は受けていないこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

現在十分な職員配置がなされている区の状態を鑑みると、基準の緩和よりも処遇の改善等によりしっかりと人員を確保していく方策が必要だと思い、反対する。

【牛尾】

【賛成の意見】

全国の自治体、区市町村が条例を定めるにあたって従うべき基準であること、また、現在区では、改正前の基準以上に職員が配置されていることが確認できたため、賛成する。

【池田】

その他、「千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」を審査しました。

環境まちづくり委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、東京都市計画地区計画「二番町地区地区計画」の変更に伴い、この条例に定める同地区地区整備計画における計画地区の区分を追加し、建築物の用途制限、容積率の最高限度、敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限、高さの最高限度、及び緑化率の最低限度について定めるものです。

〈審査経過〉

地域住民を二分することがないように、地区計画変更の内容や手続きなどの経緯、都市計画審議会の附帯決議に対する取組みなどについて40時間を超えて審査を行い、「都市計画審議会の附帯決議を土台として取り組んでいくこと」「環境影響調査を基本設計前に行うこと」の2点を委員会集約し、執行機関に強く申し入れました。

質疑終了後、審査継続を求める動議があり、採決の結果、賛成少数で否決しました。

〈討論〉

【反対の意見】

環境影響調査、与件整理に基づく基本計画が示されるまで議決すべきではないと考え、現段階では反対する。

【小枝】

「区民の意見を聞き、それを反映する」ことができない今、そもそも採決を行うべきではないため、反対する。

【岩田】

【賛成の意見】

バリアフリー化、こどもの広場のほか地域課題の解消につながる内容となっており、今後より良い計画を期待して賛成する。

【桜井】

長年の地域課題が実現できる計画であり、都市計画審議会の専門家会議で検討された経緯を重んじて賛成する。

【岩佐】

地域課題解決となる質の高い計画となるよう十分協議、前向きに話し合える場づくりを有識者等を交え丁寧に検討することを求め、賛成する。

【春山】

定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

千代田区DX戦略改定に向けて、昨年度実施した中間年の振り返り「DX戦略にかかる新たな展開」をベースに、これまでの取組みを振り返りながら作業を進めていることの報告がありました。改定にあたり、「地域のスマート化」「人材育成」「デジタルデバイス対策」「職員の生産性の向上」が主なポイントであると説明がありました。また、基幹業務システムの統一・標準化の取組みでは、10月から国の早期移行団体検証事業への参加を計画しており、ガバメントクラウド上へのシステム移行に向けた環境整備を行うことで、来年度中の標準準拠システムへの確実な移行に向け進めていくことの報告がありました。その他、「デジタルデバイス対策」「デジタル活用提案制度の応募状況」の報告がありました。

公共施設調査・整備特別委員会

子どもの遊び場として、新たに神田児童公園が加わり、10月1日から毎週火曜日、午後2時から午後4時まで、プレーリーダーを配置して実施すること。東郷元帥記念公園の実施時間を1時間拡大し、毎週日曜日の午後1時30分から午後4時30分までとすること等の報告がありました。

また、夏休みの公園での子どもに関する取組みとして、①花火の利用、②ボール遊び等遊び場の確保、③こどもの池について、それぞれ期間・場所・対象者・利用方法等の報告がありました。

質疑の中で、小学生以下を対象とする遊び場は充実してきているが、中高生の居場所づくりが課題であり、多世代交流も含めて全庁的に対応を検討していくことを確認しました。

文化継承・コミュニティ活性化特別委員会

令和6年7月3日(水)に、勉強会を開催しました。当日は、元千代田区職員である、小藤田正夫氏を招き、「震災101年と桜の継承について」をテーマに、文化の継承及びコミュニティの活性化等を調査・研究するため、九段エリアを中心として、震災前後の街並みの変遷を辿りながら、復興のシンボルにもなった桜について講義を受けました。



契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止策の調査を進めるにあたり、委員が要求した資料について、区から説明がありました。

議会における政治倫理条例に関する議論は、平成23年から始まったこと。過去5年間の契約額500万円以上の契約は、契約課契約件数の概ね45%程度が500万円以上の契約となっていること。災害復旧に関する協力会との協定内容等が明らかになりました。

また、区が2月に係長級以上の職員を対象にしたアンケート調査の結果について、報告がありました。

今後の調査の方向性等について活発に意見交換を行い、共通認識を深めながら引き続き精力的に調査を進めることを確認しました。

予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和6年度千代田区一般会計補正予算第1号」は、低所得世帯に対する価格高騰特別支援給付金、定額減税補足給付金及び区議会議員補欠選挙の各事業に要する経費の追加として、3億4,101万8千円を計上するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、低所得世帯に対する価格高騰特別支援給付金については、新たに住民税非課税となる世帯に対し、給付金を支給するものであり、対象、内容は、全国一律の基準となっていること。定額減税補足給付金の実施にあたっては、申請がない対象者について

改めて案内するなど、対象者の給付申請漏れがないよう丁寧に実施することを考えていること。区議会議員補欠選挙については、仮に今年、議員定数削減の条例改正が行われた場合であっても、地方自治法及び公職選挙法の規定により、選挙を執行する必要があること。区議会議員補欠選挙の立候補者数は、6名を想定した予算計上であるが、立候補届出書類の配付や事前審査により、想定を上回る立候補者数が予想される場合は、速やかにポスター掲示板の区画を増設することを考えていること。区議会議員補欠選挙の予算が不足する場合は、今年度執行するほかの選挙費からの流用を考えていること等が明らかになりました。

質疑を終了し、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

可決した意見書

選挙活動の健全性を
確保するために
政府の速やかな対応を
求める意見書

全会一致

令和6年4月28日に執行された衆議院議員の東京都第15区の補欠選挙では、「選挙の自由」「言論、表現の自由」を基本とした「選挙運動の自由」が妨害行為により妨げられ、候補者の街頭活動の機会、有権者の「知る権利」が失われました。

また、令和6年7月7日に執行された東京都知事選挙では、選挙活動から著しく逸脱したポスターの掲示といった公職選挙法では想定されていない問題が発生しています。

公職選挙法第1条には、「選挙が選挙人の自由に表明せる意思によって公明且つ適正に行われることを確保し、もつて民主政

治の健全な発達を期することを目的とする」と謳っています。昨今の行為は選挙そのものを冒涇するものでもあり、現状を放置したままでは、法の趣旨である公正な選挙活動を担保できません。

よって、千代田区議会は、民主主義の根幹である選挙が脅かされる事態が生じないよう、選挙活動の健全性を取り戻すべく、政府に対し、速やかな対応を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣

本会議における討論 (要旨)

千代田区地区計画の
区域内における
建築物等の制限に
関する条例の一部を
改正する条例

可決

全文は、区議会ホームページで
ご覧になれます。
また、2次元コードから
録画映像にアクセスできます。



【反対の意見】

地区計画の変更に対する住民の合意形成が不十分である。近隣の学校や住民等からは、風害や日照等の環境悪化への懸念が依然として表明されている。また、特定の1者の所有地のみが規制から外れたことで、他地区でも同様のことが起こるのではと住民が不安を持つのも当然である。それらの不安に応えるために、住民等の実質的参加を促進するルールづくりに向けた方向性を示すべき。よって本議案に反対する。

【牛尾】

【賛成の意見】

二番町地区では9年に渡り様々な角度から議論されてきたが、それが一つの区切りを迎える非常に重要な議決である。今後は都市計画審議会での附帯決議を土台とし、委員会に提出された二番町計画の検討ス

トップに取り組んでいくこと、環境影響調査を基本設計前までに行うことの2点の委員会集約を執行機関は受け止め、未来のあり方を見据えたまちづくりを着実に進めることをお願いし、本議案に賛成する。【大坂】

【反対の意見】

審議をするタイミングが適切ではない。現段階では都市計画審議会での附帯決議が反映されるか保証がない。また、交通量調査等の環境影響調査が不十分である。このまま十分な議論が尽くされない中、性急な手続きを進めること自体が住民の不信感を残し、地域を二分するのではないかと。全ての関係者が話し合い、環境影響調査を実施し、基本計画策定後での審議が妥当であると考え、反対する。【はまもり】



千代田区
平和使節団
へ参加

■はまもり かおり 議員

場所 沖縄県、鹿児島県
期間 令和6年7月22日(月)～25日(木)

■入山 たけひこ 議員

場所 広島県
期間 令和6年8月5日(月)～7日(水)

■えごし 雄一 議員

場所 長崎県
期間 令和6年8月8日(木)～10日(土)





令和6年第2回定例会 会期日程 (会期:6月19日～7月10日の22日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
6/19	議会運営委員会
	本会議(会期の決定・区長招集挨拶等)
20	議会運営委員会
26	議会運営委員会
27	本会議(代表質問・一般質問)
28	本会議(一般質問・議案の付託等)
	予算特別委員会
7/1	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
2	予算特別委員会
	議会運営委員会
	環境まちづくり委員会

月/日	本会議・委員会関連等日程
3	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	公共施設調査・整備特別委員会
	文化継承・コミュニティ活性化特別委員会
4	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
5	議会運営委員会
	環境まちづくり委員会
8	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
9	議会運営委員会
10	議会運営委員会
	本会議(議案の議決等)



3月～6月の主な活動 (3月15日～6月18日)

月/日	日程
3/25	議会運営委員会
	企画総務委員会
	環境まちづくり委員会
27	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
	政務活動費交付額等審査会
4/18	文教福祉委員会
19	〈令和6年第1回臨時会告示日〉
	議会運営委員会
25	令和6年第1回臨時会
	議会運営委員会
26	環境まちづくり委員会
5/10	企画総務委員会

月/日	日程
5/22	文教福祉委員会
24	議会運営委員会
	環境まちづくり委員会
30	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
31	文化継承・コミュニティ活性化特別委員会
6/10	文教福祉委員会
11	企画総務委員会
	環境まちづくり委員会
	政務活動費交付額等審査会
12	〈令和6年第2回定例会告示日〉
	議会運営委員会
18	議会運営委員会



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和6年3月28日～令和6年7月25日)

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名(受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和6年7月25日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して区議会及び都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、地域住民の意見を出来る限り正確に把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和6年7月25日時点)
(1)二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の正確さと公平さに関する調査、並びに(2)今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書における募集手続き及び集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画の変更について、広く番町・麴町地域の地域住民を対象とする説明会を至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員の定数・報酬・政務活動費の削減を求める陳情	議会運営委員会	審査終了
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「都市計画法第17条に基づく『二番町地区地区計画の変更に係る説明会』および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情(送付5-54)」に関する追加の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく二番町地区地区計画の変更に係る意見募集に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画地区計画二番町地区地区計画(変更)に関する意見書を収集する方法について調査をお願いする請願	環境まちづくり委員会	取り下げ
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目計画について手続きの調査を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合っ て決めるまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
東京都都市計画地区計画 二番町地区地区計画(変更)に関する意見書についての調査と 提出のやり直しを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
区が瑕疵のない真実を報告するよう指導を求める陳情書	議会運営委員会	継続審査
神田警察通り道路整備工事、2期工事の中断と整備内容の変更を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察署通りの街路樹を守る会のメンバーに対する仮処分の申し立て件についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	継続審査
千代田区都市計画審議会における「二番町地区地区計画の変更」の採決の法的問題点の確認を 議会から区に求めている陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
請願書・陳情書のオンラインでの提出を可能とするよう求める陳情書	議会運営委員会	審査終了
千代田区議会本会議の映像をYouTubeで配信するよう求める陳情書	議会運営委員会	審査終了
千代田区ホームページに区内のラジオ体操実施会場をまとめるよう求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
学士会館再開発計画において近隣住民と実のある話し合いの場を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
異議申し立て中の神田警察通りイチョウ伐採についての陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
千代田区「道路の移動等円滑化の基準」の歩道の有効幅員について、東京都と同様、附則に 「やむを得ない場合」の経過措置を設けることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、 実効性ある実施を議会から区に求めている陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
オンラインでの消費生活相談の受付を求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
特別区道千第836号の廃止に伴う陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り沿道整備推進協議会の委員を多様性と男女共同参画の視点から 早急に見直すことを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
生活支援課における夏季加算の検討についての陳情	文教福祉委員会	継続審査
精神障害者における障害者手当対象者の拡充についての陳情	文教福祉委員会	継続審査
障害者の住宅確保に関する千代田区の対応についての陳情	文教福祉委員会	継続審査

